

越谷市日本庭園 「花田苑」だより

平成29年10月号

『花田苑』10月の茶会・席（午前10時～午後3時）

【開花亭神無月の茶会】茶室でお菓子と薄茶を！

開催日	定員	入園料・茶会料
10月8日（日）	80名	入園料100円 茶会料500円
10月22日（日）		

【やすらぎの茶席】茶室外待合でお菓子と薄茶を！

開催日	定員	入園料・茶席料
10月29日（日）	80名	入園料100円 茶席料300円

県民の日「花田苑」無料開園のご案内！

開催日：平成29年11月14日（火）

開園時間：9時～16時（但し、入園は15時まで）

イベント・苑内オリエンテーリング（参加記念品あり）

・「やすらぎの茶席」先着100名様

茶席料 300円

・苑内ガイド

・鯉の餌やり



琴柱灯籠

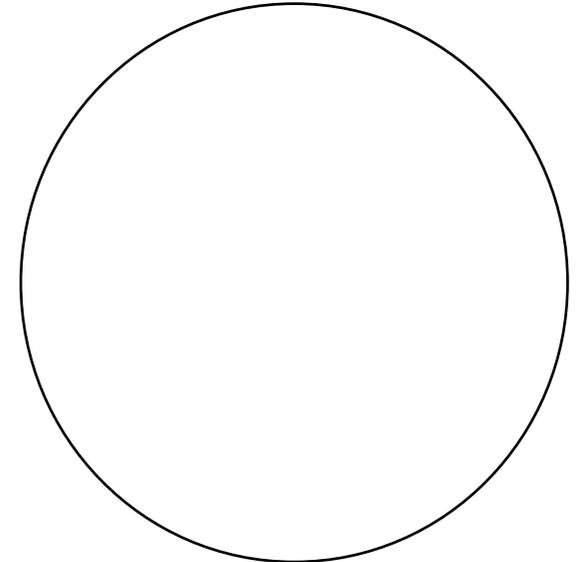
花田苑散策ガイド 花田苑の石灯籠

花田苑には、3種類の石灯籠があります。1番目の灯籠は、大きい池の能楽堂側の近くの岩の上にある「置灯籠(おきとうろう)」です。これは灯台の灯りのように見えます。特徴は竿がないということです。そして、火袋だけが岩の上に置かれています。2番目は、大きい池の南側に立っている「琴柱灯籠(ことじとうろう)」です。琴は前後にアーチのかかった横に細長い板上で内部が中空の胴に、13本の弦を張り渡した楽器です。柱(じ)はほかの弦楽器でいう駒、ブリッジで糸を支え、音高を定め、振動を胴に伝える部品で、この琴柱に似ていることからその名がついたと言われています。3番目は茶室の庭にあります「織部灯籠(おりべとうろう)」です。織部というのは、およそ500年前に豊臣秀吉の部下であった古田織部という侍の名前から付けられたものです。彼は新しい茶道の流派を始めたことでも有名です。また、彼は自分の好みで石灯籠(織部灯籠)を考案いたしました。花田苑にお越しになって、散策してはいかがでしょうか。



置灯籠

記念スタンプ欄



◇住所：越谷市花田六丁目6番地2

◇電話・FAX：048-962-6999

◇開園時間：【10月1日～3月31日】全日 午前9時～午後4時

※入園券の販売は 閉園1時間前まで

◇入園料：100円、（小学生に達しない子どもは無料、小学生以下の入園は成人の同伴が必要です。）

◇休園日：年末年始（12月28日～1月3日）